

# 65歳以上の入院患者における 転倒・転落発生率

- 分子
  - 65歳以上の入院中の患者に発生した転倒・転落件数
- 分母
  - 65歳以上の入院患者延べ数(人日)
- 単位
  - ‰:パーミル(×1000)

※ 参考文献の基準と合わせたこと、連続性を考慮することにより、65歳以上とする。

# 算出方法

1. 調査期間中の65歳以上の入院患者延べ数(許可病床数にかかわらず24時現在に在院していた患者数および退院患者数)の合計を分母とする。
2. 分母のうち、医療安全管理部門へインシデント・アクシデント報告が提出された65歳以上の入院中の転倒・転落件数を分子とする。
  - a. 入院患者以外の転倒・転落によるものは分子から除外する。
  - b. 転倒・転落発生日が分母と同月の場合に分子に含む。
  - c. 医療スタッフによる介助時や移動時の転倒・転落によるものは分子に含む。
  - d. 医療施設の敷地外や外泊中の転倒・転落によるものは分子に含む。
  - e. 意図的な転倒・転落によるものは分子に含む。
  - f. 同一患者における複数回の転倒・転落によるものは個別にカウントする。
  - g. 同一患者における同一転倒・転落に対し複数のインシデント・アクシデント報告が提出された場合には、複数の報告を1件として分子に含む。

# 算出例

|  | 調査期間外                 | 調査期間 (4/1~4/30)            | 調査期間外                 | 分母      | 分子  |
|--|-----------------------|----------------------------|-----------------------|---------|-----|
| 患者A(70歳)<br>転倒なし                           |                       | 4/3入院 4/7退院<br>←————→      |                       | 5       | 0   |
| 患者B(55歳)<br>転倒あり(4/6)                      |                       | 4/3入院 4/7退院<br>←————■————→ |                       | 対象外     | 対象外 |
| 患者C(68歳)<br>転倒あり(3/31、4/6)                 | 3/28入院<br>←————■————→ |                            | 4/20退院                | 20      | 1   |
| 患者D(64歳→65歳)<br>転倒あり(4/13、4/28)<br>誕生日4/20 |                       | 4/12入院<br>←————■————→      | 5/2退院                 | 11      | 1   |
| 患者E(82歳)<br>転倒あり(3/31、4/2、<br>4/20、5/1)    | 3/20入院<br>←————■————→ | 4/2退院                      | 4/15入院<br>←————■————→ | 2+16=18 | 2   |

年齢は、転倒日基準となります。

対象期間の途中で65歳以上になった場合、65歳になってからの入院期間が分母となります。

# 参考

- The Australian Council on Healthcare Standards(ACHS). AUSTRALASIAN CLINICAL INDICATOR REPORT 15th Edition 2010-2017.

# 転倒による損傷のレベル

| 損傷レベル |     | インシデント<br>影響度分類 | 説明  |
|-------|-----|-----------------|---|
| 1     | なし  | 0、1、2           | 患者に損傷はなかった  |
| 2     | 軽度  | 2または3a          | 包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた               |
| 3     | 中軽度 | 3a              | 縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた             |
| 4     | 重度  | 3b/4a/4b        | 手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため診察が必要となった |
| 5     | 死亡  | 5               | 転倒による損傷の結果、患者が死亡した                                  |
| 6     | UTD |                 | 記録からは判定不可能  |

- ① 最初の転倒・転落報告が記載される時には、損傷の程度がまだ不明かもしれない。転倒24時間後の患者の状態をフォローアップする方法を決める必要がある。
- ② 患者が転倒24時間以内に退院する場合は、退院時の損傷レベルを判断する。
- ③ X線、CTスキャン、またはその他の放射線学的評価により損傷の所見がなく、治療もなく、損傷の兆候及び症状もない場合は、“1なし”を選択する。
- ④ 凝固障害のある患者で、転倒の結果血液製剤を受ける場合は、“4重度”を選択する。

# 変更履歴

| 変更日        | 内容                           |
|------------|------------------------------|
| 2019/04/12 | 新規指標。従来からの転倒転落に年齢を付加した指標。    |
| 2019/05/08 | 算出例の資料追加。資料3枚目。              |
| 2019/05/16 | 算出例の4例目の分子0→1へ修正。            |
| 2019/05/31 | 損傷レベル1のインシデント影響度分類を修正。資料5枚目。 |
| 2020/04/20 | 65歳以上とした理由を追記。資料1枚目。         |
|            |                              |
|            |                              |
|            |                              |
|            |                              |
|            |                              |